



ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区広報誌
第8号

2016年2月12日
組織拡充委員会

寒さの中でも元気に活動

昨年の大晦日から正月にかけて、冬の寒さの中でも元気に活動している、各団・各隊の様子をお伝えします。

お正月のお餅つき 中野5団

中野5団は毎年恒例の餅つき会を1月17日（日）、カトリック徳田教会の中庭で開催しました。

餅つきはスカウトだけでなく、教会の有志の方々にもお手伝いいただき、ミサの後の午前11時すぎから、つきたてのお餅をあんこ、きな粉、大根おろし、のり、納豆でからめ、豚汁付きで販売しました。

スカウト達はかまどにまきをくべて、もち米を蒸したり、重たい杵を元氣よく振り上げ、楽しく餅つきをして、美味しくいただきました。



荻窪八幡神社で 初詣と どんど焼き 杉並6団、杉並8団

西荻窪周辺の地域団である杉並6団のビーバー隊とカブ隊は、毎年最初の隊集会で、地域の守り神である荻窪八幡神社（上荻4丁目）に初詣の参拝をしており、1月10日（日）、今年一年の活動の安全と発展、成長を祈願しました。

制服を整え、昇殿して神主さんに祝詞をあげていただくのですが、みんないつもより緊張している様子で、隊長と一緒に、ちゃんと「二拝二拍手一拝」の作法で参拝して、今年も安心して楽しい活動が出来ます！

その後、一緒に活動している杉並8団の仲間と合流し、神社の境内で行われている「どんど焼き」で、お餅を焼いて頂きました。「どんど焼き」はお正月に迎えた神様（歳神様）を送るもので、正月飾りや、しめ縄、古いお札などを集めて焚きあげ、一年の無事を祈る古来からの伝統行事です。

どんど焼きの火にあたり、竹竿の先の金網に入れて焼いたお餅を食べれば、一年が健康であるといわれており、スカウト達は熱いにもかかわらず、頑張ってお餅を焼いていました。

最後に、ビーバーとカブ全員で記念写真をパチリ。今年もみんないい笑顔で、楽しい活動が出来そうです！

(杉並6団 カブ隊長 細川浩史)



旗揚げ式でスタート

杉並3団

杉並3団では、昭和35年の発団以来、廣瀬文一初代団委員長が発案で、毎年正月2日に「旗揚げ式」を団行事として行っています。「旗」は、スカウト活動にご支援を頂いている方々に旧年中の感謝の意を表わす場、であるとともに、新年に向けて決意を新たにスタートする場、という意味が込められており、今年で55回目となりました。

澄み切った青空の下、スカウトたちはいつも以上に引き締まった表情で、団委員長をはじめ各隊リーダーの熱意のこもった抱負に聞き入っていました。

また、正月の帰省に合わせて「旗揚げ式」に立ち寄って下さるOBや父兄もおおり、同窓会さながらの光景が見られることも、毎年の楽しみの一つとなっています。

杉並3団は今年も正月から元気に活動のスタートを切りました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(杉並3団 大嶋千夏)



温かい甘酒をサービスし ユニセフ募金

杉並12団

杉並12団では、大晦日から正月にかけて、阿佐谷神明宮の境内で、ボーイ隊はかがり火、ベンチャー隊とローバー隊は参拝者の誘導の奉仕をするとともに、育成会の父兄やリーダーは初詣に来られた方々に甘酒のサービスを行いました。

甘酒サービスは毎年の恒例の行事で、大きな鍋で酒粕や砂糖を溶かして攪拌しながら甘酒を準備し、新年を知らせる太鼓の音や除夜の鐘が聞こえ始めると、参拝を済まされた方々が次々に立ち寄られ、裏方では甘酒を大鍋からやかんに移して紙コップに注ぎ、大忙しでしたが、皆さんが温かな甘酒で冷えた体を温めていました。

ユニセフの募金もお願いして、集まった募金はユニセフに寄付しました。



新年賀詞交換会 開催

東京連盟の新年賀詞交換会が1月16日（土）、アルカディア市ヶ谷で開催され、東京連盟やあすなる地区の役員、各団など多くの関係者が参加しました。

東京連盟の奥島孝康連盟長は、2022年に日本連盟の創立100周年を迎えることから、スカウティングの原点に帰って活動を展開していくことが大切であるとの挨拶をされました。

また、奥島連盟長（前列右から3番目）は、あすなる地区の参加者を囲んで懇親を深められ、写真に収まっておられました。



スピードを競う パインウッドダービー

1月24日（日）、あすなろ地区パインウッドダービー予選会が下井草児童館で開催され、中野8団、中野11団、杉並11団、杉並13団のカブ隊が参加して、スカウトが手作りしたご自慢の「愛車」を持ち寄りました。

各スカウトはダービー用のキットに入っている松の木（パインウッド）を自由に削って彩色し、鉛などの錘りや車輪を取り付けて完成させました。

開会前の「車検」では、一台ずつ車の長さ、幅、高さ、重量などが規定通りかをチェックしました。

児童館のとなりの公園で開会式のあと、うさぎ、しか、くまの年代別に競技が開始され、一斉にスロープをかけおとりて、ゴールインするまでの順位で予選通過の車を決めました。また「アンリミテッド」には、「くま」より上のスカウト、リーダー、父兄が参加しました。

年代別に、速かった上位入賞者14名は表彰され、3月6日（日）、板橋区立東板橋体育館で開催される東京大会に出場します。また、速さに関わりなく、参加した車のデザインが審査されて、表彰がありました。

参加した各隊カブスカウト全員で室内ゲームも行われ、楽しいひと時を過ごしました。



菊スカウト章、富士スカウト章を取得

1月28日（木）、西荻地域区民センター・勤労福祉会館で開かれた地区協議会に先立ち、菊スカウト章が杉並6団ボーイ隊の井上元紀さんと福光暁さんに授与されました。

また、富士スカウト章を授章された杉並12団の水野飛翔さんにバックルが伝達されました。

この菊スカウト章と富士スカウト章の授章は、スカウトと指導者の努力と熱意によるもので、受章された皆さんのますますの活躍が期待されます。



28年度の登録に向けて 登録審査会

2月11日（祝）、あすなろ地区の登録審査会が西荻地域区民センター・勤労福祉会館で開催され、各団の登録担当者や関係者が集まり、平成28年度の各団、隊の登録申請書類とともに、スカウト、リーダーの継続登録に必要な登録料や、各団の運営に必要な書類の審査がありました。

登録審査会は各団の活動の健康診断でもあり、団や隊の活動内容、運営体制面を見直して、よりよいものにしていくものです。

あすなろ地区の平成28年度の継続登録者数は944人となり、平成27年度の継続登録者数の957人に比べて、13人の減少となりました。



なごやかに 新春リーダーの集い

2月11日（祝）、荻窪タウンセブンの8階ホールで「平成28年新春リーダーの集い」が開催されました。

「リーダーの集い」は、各団の指導者が一堂に会して交流し、懇親を深めることのできる機会でもあり、あすなろ地区各団の成人指導者、団委員、育成会員のほか、昨年の世界ジャンボリーに参加したあすなろ地区参加者が隊編成でお世話になった世田谷地区と練馬地区の参加隊の指導者の方々や、大会後、ポーランドスカウトのホームステイを受け入れていただいた家族の方々など、多くの方に参加いただきました。

鈴木地区委員長の開会の挨拶のあと、杉並区保険福祉部子ども家庭担当部長の田部井伸子様や、ボーイスカウト東京連盟の山内直元副理事長から挨拶をいただきました。

高橋協議会長の乾杯の音頭に引き続いて、会場では昨年夏の世界ジャンボリーでの活動の様子がスライドで放映され、あすなろ地区参加隊のリーダーから世界ジャンボリーの話や、ホームステイを受け入れていただいた各家庭からは、お互いの言葉や文化は違っても、心の交流は十分通じ合えたなど、国際交流で得られた体験談の話がありました。

恒例のビンゴゲームで一喜一憂しながら楽しんだあと、佐藤地区コミッショナーの大きな発声で弥栄を三唱し、散会しました。



鈴木地区委員長の挨拶



東京連盟山内副理事長の挨拶



来賓の方々



高橋協議会長の乾杯の音頭



世田谷地区の方々



練馬地区の方々



ホームステイ受入家族の方々



元氣よく弥栄！

50年に感謝 ～中野8団は発団50年を迎えました～

中野8団 団委員長 伊佐野雅男

中野8団は今から50年前の昭和40年（1965年）、東京260団として中野区中野の地にシニア隊（現ベンチャー隊）のみで発足しました。団の分封や合併などの栄枯盛衰もあった中で、こうして50年を迎えられましたのは、本当に多くの皆様のご支援の賜物であり、改めまして心より深く感謝申し上げます。

また、この記念すべき節目の年に、団としては初めての「富士スカウト」が誕生し、大変嬉しく感じております。

中野8団は、創始者ベーデン・パウエル「スカウティング・フォア・ボーイズ」、「ローバーリング・ツー・サクセス」を心の拠り所として活動してきました。

今後とも、このボーイスカウト運動に真っ直ぐに向き合い、多くのスカウトを「自律したスカウト＝より良き社会人」に導けるよう、団関係者が一丸となって研鑽に努め、次の50年につながるスカウティングを実践していきたいと思っております。

引き続きご指導・ご支援をよろしく申し上げます。



中野8団発足50周年記念式典を開催

昨年の12月12日（土）、団の恒例行事である「サヨナラパーティー」の機会に、団の関係者のみで50周年記念式典を行いました。

式典は“現役スカウトを主役に”という育成会長らの方針のもと、富士スカウトと隼スカウトによるプロジェクトの発表や、第23回世界ジャンボリー参加スカウトによる活動報告などを中心に、ビーバースカウトや保護者にも楽しんでもらえる内容で行いました。

50年の活動をスライドで振り返りましたが、指導者たちの幼いスカウト時代の写真などが出てくると、現在とのギャップに、見ていたスカウト達から笑いや驚きの声が上がりました。

